

溝上 達也



松山大学 理事長・学長

村上宏之前理事長・学長の任期満了に伴い、1月1日付で溝上達也経営学部教授が理事長・学長に就任した。任期は2018年12月31日までの2年間。

溝上達也新理事長・学長は1974年山口県生まれ。1997年3月一橋大学商学部卒業、1999年3月一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、2002年3月一橋大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学、2003年3月一橋大学・博士

(商学)学位取得。2000年4月松山大学経営学部専任講師、2004年4月松山大学経営学部助教授、2007年4月松山大学経営学部准教授、2011年4月松山大学経営学部教授。2013年1月から2014年12月まで学校法人松山大学理事長補佐。2015年1月から2016年12月まで松山大学副学長などを歴任し、現職に至る。

専門分野は会計学(財務会計)。編著書として『会計数値の形成と財務情報』『財務会計論究』がある。日本会計研究学会、日本簿記学会、財務会計研究学会に所属している。

少子高齢化、地方財政の悪化など、地方大学は厳しい状況に置かれているが、新理事長・学長は教育に対する熱意を大切にして、社会に必要とされる大学であり続けるために、学長に求められるリーダーシップを発揮し、松山大学をさらなる発展軌道に乗せていきたいと考えている。

UNIVERSITY CURRENT REVIEW



大学時報

奇数月20日(年6回)刊行

●WEBサイトにて、全文無料公開中

※第344号(2012年5月発行)から

詳細は

<http://www.shidaiaren.or.jp/activities/daigakujihou>



第371号 (2016年11月発行)

【特集】

宗教系学部・学科の現在と意義



【座談会】

新たなインターンシップの意味付け

【インタビュー】

渡辺美和子氏(株式会社渡辺教具製作所取締役会長)

第372号 (2017年1月発行)

【特集】

東日本大震災を契機に
—被災地と大学との連携再考—



【座談会】

大学におけるスポーツ系学生へのケアやサポート

【インタビュー】

山田寛豪氏(トリアスリート、流通経済大学職員)

川井伸一 いかわい しんいち 愛知大学理事長・学長。東京大学大学院社会学研究科国際関係論専攻修士課程修了。'92愛知大学経営学部助教授、教授、学部長、副学長を経て、'15から現職。

山崎哲哉 やまざき てつや 武蔵大学学長。早稲田大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学。'91武蔵大学人文学部専任講師、助教授、教授を歴任。'14から現職。

林道郎 はやし みちお 上智大学国際教養学部長。'83東京大学文学部卒、'99コンビニア大学大学院博士課程修了 (Ph.D.)。博士 (美術史学)。

斉藤言子 さいとう ことこ 神戸女学院大学学長。神戸女学院大学音楽学部卒、同研究生修了。専門は声楽。'88音楽学部専任講師。助教授、教授を経て、'15から現職。

市川伸一 いちかわ しんいち 東京女子大学現代教養学部教授。'83スタンフォード大学大学院博士課程修了 (Ph.D.)。物理化学専攻。数理科学科主任、共通科目運営委員長、大学評議会委員などを歴任。

上田紀行 うへだ のりゆき 東京工業大学教授、リベラルアーツ研究教育院長。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士 (医学)。主著『生きる意味』 (岩波新書) ほか。

山田健太 やまだ けんた 専修大学文学部 (人文・ジャーナリズム学科) 教授。'84青山学院大学卒。専門は言論法、ジャーナリズム論。近著『見張塔からずっと』『放送法と権力』ほか。

日比谷武 ひびや ぶ 富士ゼロックス株式会社顧問。慶應義塾大学卒。富士ゼロックス入社後、小林陽太郎の秘書、人事・CSR役員、監査役等歴任。経済同友会幹事、上智大学特任教授など。

日比谷潤子 ひびや じゆんこ 国際基督教大学学長。ペンシルヴァニア大学大学院博士課程修了 (Ph.D. in Linguistics)。慶應義塾大学助教授などを経て、国際基督教大学教授。'12から現職。

田近裕子 たぢか ゆうこ 津田塾大学文学部教授。ミネソタ大学大学院 Applied Linguistics (Second Language Acquisition) Ph.D. '00から現職。'174月から総合政策学部教授に就任予定。

岡田隆夫 おかだ たかお 順天堂大学医学部教授。順天堂大学大学院医学研究科博士課程修了。生理学、医学教育学専攻。共著『系統看護学講座 解剖生理学』ほか。

上岡條二 かみおか じうじ 学校法人白鷗大学理事長、副学長。成蹊大学卒。株式会社東急エージェンシー・インターナショナル勤務を経て、'92白鷗大学副学長、'10から現職。専門は国際関係論。

小林雅之 こばや まさゆき 東京大学大学院総合教育研究センター教授。'82東京大学教育学研究科博士課程単位取得退学。博士 (教育学)。教育社会学専攻。主著『進学格差』ほか。

坂本雅士 さかもと まさし 立教大学学生部長、経済学部教授。日本私立大学連盟学生会奨学金等分科会分科会長。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。富山大学を経て、'14から現職。

亀岡エリ子 かめおか えりこ 公益財団法人樫山奨学財団理事長。神戸女学院大学卒。

浅野昭人 あさの てるひと 立命館大学学生部長。立命館大学政策科学研究科博士前期課程修了。'89立命館に入職。教学部次長、キャリアセンター次長などを経て現職。

水上 晃 みづかみ あき 学校法人神奈川大学広報部長。神奈川大学卒。財務部予算課長、学生生活支援部事務部長を経て'08から現職。

杉本清香 すぎもと けいか 順天堂大学医学部助教。トロント大学情報学科博士課程修了。博士（情報学）。'15青山学院大学社会情報学部助教、'16から現職。

新井信一 あらゐのぶふす 関東学院大学人間共生学部学部長、教授。筑波大学大学院経営・政策科学研究科修了後、関東学院大学女子短期大学に着任。'06に関東学院大学人間環境学部教授、'16から現職。

有光隆司 ありみつ たかし 清泉女子大学大学院研究科長・文学部教授。'83上智大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。清泉女子大学副学長、図書館長、入試部長等を経て'06から現職。

清水大輔 しみず だいすけ 中央大学文学部学事課。'05中央大学入職。'11から現職。

篠田真理子 しのだ まりこ 恵泉女学園大学人間社会学部准教授。'02東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。専門は環境史・環境思想。'05から現職。

荻田忠伸 おぎただのぶ 芝浦工業大学地域連携・生涯学習企画推進課長。'95中央大学商学部卒。民間企業を経て、'04入職。管財課長、施設課長を経て、'13から現職。

東山彰良 ひがしやま しょうら 西南学院大学経済学部卒、西南学院大学大学院経済学研究科修士課程修了。2002年に『タード・オン・ザ・ラン（後に『逃亡作法』に改題）』で『このミステリーがすごい！』大賞の銀賞および読者賞を受賞。2015年には『流』で直木賞、2016年には『罪の終わり』で中央公論文芸賞を受賞。

川島 葵 かわしま あい フリーアナウンサー。上智大学文学部卒。'05東海ラジオ入社。'12からフリーとして活動し、『TOKYO UPSIDE STATION』（水曜／金曜）のパーソナリティなどを務める。

会長の動き 2017年
1月・2月

● 1月10日(火)
第10回理事会、平成29年新年交歓会に出席

● 1月23日(月)
平成28年度第2回学長会議に出席

● 1月24日(火)
第9回常務理事会に出席

● 1月25日(水)
日本私立大学団体連合会の記者懇談会に出席



記者懇談会に出席する鎌田会長

● 2月6日(月)
日本私立大学団体連合会 役員会に出席

● 2月14日(火)
第10回常務理事会、第11回理事会に出席

席

開催報告

● 1月10日(火)
「新年交歓会」開催

本連盟にご支援・ご協力をいただいている方々をお招きして新年交歓会が開催され、鎌田薫会長の年頭あいさつ、安西祐一郎顧問の音頭による乾杯の後、293名のご出席者が新年の歓びを交わした。

● 1月23日(月)
「第2回学長会議」開催

「私立大学の建学の精神に基づく独自性と公共性」をテーマに開催。56の加盟大学から61名の参加があった。

私立大学が安定的・継続的に役割を果たしていくためには、財政基盤の確立という課題があるが、高等教育における国私間の公財政支出の格差は著しい。公財政支援の獲得も視野に入れながら、私立大学は「画一性」と「独自性」の狭間で教育改革に取り組んでいる。高大接続改

革の一環として三つのポリシーの一体的策定・公表が法制化されたが、それは三つのポリシーに基づくカリキュラム・マネジメントのあり方にもつながり、画一性の中でどのように独自性を生かしていくのか、課題は尽きない。今回は、教育改革における「画一性」と「独自性」のバランスや、新しい時代における私立大学の公共性についての考察を通じて、私立大学が果たしてきた役割を再認識し、未来を育む教育について考える機会とした。

● 2月27日(月)
「国の補助金等に関する説明会(第2回)」開催

「平成29年度私立大学関係政府予算案」、「国公立私立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進等に関する予算案」および「科学研究費をはじめとする研究費に関する予算案」、さらに「国の給付型奨学金制度」について、文部科学省担当者から報告・説明があった。その後、個別ブースにて各大学の質問を受け付け、詳細な説明や質疑応答が行われた。当日は、92の加盟大学から365名の参加があった。

大学時報 年間総目次 第368号(2016・5) ◆ 第373号(2017・3)

第368号(2016・5)



クロースアップ
インタビュー
森田華子さん

巻頭言

巻頭論文

女子大学の地域社会における存在意義

川島明子

座談会 「入試改革」のこれまでと、これから

石原賢一／大石 裕／伊東辰彦／宮下明大／司

(会) 小林直毅

特集 高等教育は持続可能なのか

持続可能性の条件

矢野真和

地域・階層間の大学進学機会の不平等

中澤 渉

世帯年収減少時代の高等教育の持続可能性

豊田眞弓

必修海外留学の継続と学部費用支援

今泉裕美子

すいそう

大学の教育と経営

内藤政武

小特集 教職員の心の健康

いま急がれる大学のメンタルヘルス対策

大学構成員のメンタルヘルス

渡部 卓

職場のメンタルヘルス——うつ病と新型うつ病

梅景 正

義務教育教員の事例から考えられること——組織

的取り組みの重要性

米田 博

「高校生のための留学Q&A」について

私の授業実践——教育現場の最前線から

山田政通

考えさせる工夫

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

石岡みずき

新たな展開を求めて大学が変わるとき——阪南大

学・変革における転換点を探る

吉川 茂

加盟校の幸福度ランキングアップ《オリジナルミ

ネラルウォーター編》

富士の天然水——絆で生まれた日本大学オフィ

シャルウォーター・日本大学

瀧澤義昭

SEINAN SUI(西南水)——創立100周

年記念オリジナルグッズ・西南学院大学

ユメミルミズ——潤う女子応援ブランドの誕生・

前田誠史

昭和女子大学

保坂邦夫

クロースアップ・インタビュー

シャボン玉石けん株式会社 代表取締役社長 森田

隼人さんに聞く

(聞き手) 川島 葵

新会員代表者紹介

松岡 敬(同志社)／塩崎千枝子(松山東雲学園)

／土屋恵一郎(明治大学)／植木 實(大阪医科

薬科大学)／戸部順一(成城学園)／北川 浩(成

蹊学園)／木越 康(真宗大谷学園)／高橋裕子

(津田塾大学)

新学長紹介

野口光一(兵庫医科大学)／大日向雅美(惠泉女学

園大学)

新加盟大学紹介

大阪薬科大学

新加盟大学学長紹介

政田幹夫(大阪薬科大学)

表紙・大学点描

仙台白百合女子大学

だいがくのたから

亜細亜大学

第369号(2016・7)

クロースアップ
インタビュー
高橋尚子さん

巻頭言

大阪に幸あれ笑いあれ、ずっと大阪50年

坂井東洋男

巻頭論文

大学改革とイノベーション

川名明夫

座談会

「医師」を育てるとは——医学部教育の

現在

岡崎仁昭／高木 康／高松 研／(司会) 吉岡俊正

特集 選挙と大学

「そっだ」選挙に行こう！ 18歳選挙権フォーラム」
の開催について 吉田栄司

選挙啓発をめぐる大学と行政の連携

木暮健太郎

18歳選挙権と学生の政治意識

井田正道

期日前投票所の設置について

岡田 隆

選挙における大学と市の連携

梅村浩明

すいそつ

大学の役割と企業の採用活動

檜田松登

小特集 大学改革とSD義務化

スタッフ・ディベロップメント(SD)の義務化

について考える

大場 淳

学長人材は育つのか育てるのか

高祖敏明

高等教育を担うアカデミック・リーダーの育成——

東北大学の挑戦

杉本和弘

学校法人における組織図のあり方

佐野浩一

私立大学の都心回帰続々

岡本史紀

私の授業実践——教育現場の最前線から

受講生のモチベーションを高める工夫

今井福司

明日への試み

学習院大学国際社会科学部

国際ビジネスの第一線で活躍できる人材を養成！

——グローバルな視点から社会の仕組みを学ぶ

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

末廣 昭

歩み——東洋学園の百年

原田規校子

加盟校の幸福度ランキングアップ《学生手帳編》

女性アスリートダイアリー・順天堂大学

桜間裕子

学生目線の学生手帳・就活手帳・桃山学院大学

朴 大栄

学生の学びと成長を支えるキャンパスダイアリー・

立命館大学

浅野昭人

クロースアップ・インタビュー

スポーツキャスター・マラソン解説者 高橋尚子

さんに聞く (聞き手) 山岡三子

新会員代表者紹介

徳田行延(学校法人文理佐藤学園)／新井 一(学

校法人順天堂)／中山洋司(学校法人恵泉女学

園)／松原康雄(学校法人明治学院)／牧野丹奈

子(学校法人桃山学院)／西本照真(学校法人武

蔵野大学)／齊藤 昇(学校法人立正大学学園)

／田畑邦治(学校法人白百合学園)／永尾教昭

(学校法人天理大学)

新学長紹介

尾池 守(石巻専修大学)

表紙・大学点描 追手門学院大学

だいがくのたから 東京農業大学

第370号(2016・9)

クロースアップ
インタビュー
杉本健爾さん

巻頭言 「地の塩、世の光」として

加賀裕郎

巻頭論文 グローバル化の実態

是水 駿

座談会 大学は発達障害をどう受け入れるのか

辻 恵介／ビーター・バーニック／井上真郷／司

会 兼高聖雄

特集 大学における障害者差別解消に向けた取り

組み

障害者差別解消法の概要

松本宏太

障害のある学生への支援・配慮事例

小越真一朗

障害者差別解消法の施行と大学における体制整備

柏倉秀克

障害のある受験生に対する合理的配慮

近藤武夫

すべての利用者にやさしいキャンパス整備を目指

して 伊井 明

障害のある教職員の支援・採用と学内理解の促進

原 正福

すいそう

熊本復興と建学75周年を見据えて

松前義昭

小特集 大学のIR活動における取り組み

教育に寄り添うIR活動

高 龍秀

Bツール「Tableau」を活用したIR推進

について

相生芳晴／林 裕佳

意思決定を支援するIR——議論の素材を提供す

る明治大学のIR——

山本幸一

5000人の学生との面談——TSR総合調査の

実践

上杉道世

「地方の時代」映像祭と大学の関わり

岡田弘行

私の授業実践——教育現場の最前線から

学生の自主的な学修を促す仕組みづくり

田中有紀

明日への試み

姫路獨協大学看護学部

新設看護学部を目指すもの

森田せつ子

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

校訓「人になれ 奉仕せよ」の実践と展望・関東学

院大学

規矩大義

加盟校の幸福度ランキングアップ《学生手帳編》

学生によるオリジナル手帳の研究開発・京都橘大

学 木下達文

就職活動手帳・キャリア手帳——就職活動・学生

生活をサポートする明大生の新たな必須アイテ

ム・明治大学 鈴木義夫

大学生活4年間を通して成長していくためのツ

ル——CAMPUS HANDBOOK——早稲田大学

関口八州男

クロースアップ・インタビュー

書道家・美文字トレーナー 杉本健爾さんに聞く

(聞き手) 山岡三三子

新会員代表者紹介

中内 潤(学校法人中内学園)

表紙・大学点描 同志社女子大学

だいがくのたから 京都精華大学

第371号 (2016・11)

クロースアップ
インタビュー
渡辺美和子さん

巻頭言 男女共同参画時代の女子大学 平川 新
巻頭論文 女性活躍促進時代における女子教育

大日向雅美

座談会 新たなインターシップの意味付け

藪田 洋／難波祐美／磯野彰彦／栗林野一／(司

会) 音 好宏

特集 宗教系学部・学科の現在と意義

ミッシヨンスクールのミッシヨ

現代日本社会における生活と宗教

伝統と近代化の狭間で

総合仏教の旗の下に——大正大学仏教学部の取り

組み——

僧侶養成から総合大学へ——立正大学——

寺尾英智

開かれた神学教育を目指して
すいそう

土井健司

「力石」への思い

野尻俊明

小特集 保健室のいま

大学における保健室・学校医機能とその課題

川村 孝

女子大学におけるウェルネス・センターの役割

井上則子

これからの保健室／多岐にわたる役割／

清水 芳

学校法人におけるマイナンバー制度と実務

岡原宏一

私立大学フォーラム2016——「起業家精神と

日本の教育／教育改革の一つの視点」総括(東

京会場)

坂本剛順

私の授業実践——教育現場の最前線から

経験を通じて自信をつける

直井和久

明日への試み

亜細亜大学都市創造学部

「都市の世紀」を担う人材の育成と新たな学問領域

の開拓を目指す——亜細亜大学都市創造学部の

挑戦

後藤康浩

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

建学の精神と学術研究・人材育成の展開——國學

院大学の未来に向けて・國學院大学 針本正行

加盟校の幸福度ランキンガアップ《輝け大学職員

編》

大学窓口もグローバル化対応へ——とっさのひとこ

と英会話(大学業務編)「プロジェクト」・法政

大学 平山喜雄

学生のリアルを大学の鏡に・國學院大学

山口輝幸

短期海外視察研修——Broaden our horizons——

・立教大学

原 正福

クロースアップ・インタビュー

株式会社渡辺教具製作所 取締役会長 渡辺美和

子さんに聞く (聞き手) 山岡三子

新会員代表者紹介

芝井敬司(関西大学)

新学長紹介

佐々木重人(専修大学／岩崎恭典(四日市大学)

表紙・大学点描 宮城学院女子大学

だいがくのたから 東洋大学

第372号(2017・1)

クロースアップ
インタビュー
田山寛家さん

巻頭言

学校法人大阪医科薬科大学の一員として

年頭所感

個性輝く私立大学の存在を示す年に

巻頭論文

人間の教育としてのリベラルアーツ
鎌田 薫

座談会

大学におけるスポーツ系学生へのケアや
山田耕太

サポーター

高橋繁浩／吉村雅文／高増 明／土屋 純／(司
会) 奥村信幸特集 東日本大震災を契機に——被災地と大学と
の連携再考——被災地とつながる中継地と大学間連携
其田雅美
被災者の誇りを取り戻す長い道程
坂田 隆

学校校と震災復興——宮城県南三陸町における慶

應義塾の取り組み——

繁森 隆

東日本大震災での大学間連携と熊本地震

井上博司

支援で問われる受援力…学園による支援

山口洋典

すいそう

日本私立大学連盟と医科大学・医学部
寺野 彰

小特集 大学職員 社会人採用のいま

大学職員中途採用の今日の傾向と提言——「マイ

ナビ転職」掲載案件から見る募集背景

板垣品仁／島森浩一郎

大学が社会人採用をするということ
田中 岳

社会人採用者として必要な変化への対応

御法川卓爾

社会人経験と総合職としての大学職員
栗原友美

第3期認証評価における大学評価について——大

学基準協会が目指す内部質保証——工藤 潤

私立大学フォーラム2016——「政治なき教養

は空虚であり、教養なき政治は盲目である」総

括(仙台会場)

鈴木正也

私の授業実践——教育現場の最前線から

教室という「舞台」を創り出す
馬場崎賢太

明日への試み

宮城学院女子大学現代ビジネス学部

東北の女子大学にビジネス系学部誕生の意義——

震災後の東北の社会で活躍する女性の育成を目

指して

宮原育子

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

道辺に愛の火をもえたせよ(校歌より)——聖

心女子大学創基100周年を迎えて・聖心女子

大学
北村和夫

加盟校の幸福度ランキングアップ《輝け大学職員

編》

学生とともに創る横浜キャンパスプロジェクト・

明治学院大学
望月幸光

全教職員で推進する企業開拓プロジェクト・追手

門学院大学
下川邦泰

クリエイティブプロジェクト・昭和女子大学

保坂邦夫

クロースアップ・インタビュー

トライアスリート・流通経済大学職員
田山寛家

さんに聞く

(聞き手) 山岡三子

表紙・大学点描
大阪薬科大学だいがくのたから
学習院女子大学

第373号(2017・3)

クロスアップ
インタビュー
東山彰良さん

巻頭言 「知を愛する者が集う大学」として

川井伸一

巻頭論文 少人数ゼミ教育によるグローバル市民

の育成

山崎哲哉

座談会 リベラル・アーツ教育は、いま

林 道郎／斉藤言子／市川伸一／上田紀行／(司

会) 山田健太

小特集 リベラル・アーツ教育は普遍か？10年間
の振り返り

大転換期の企業経営と求める人材

日比谷武

みんな悩んで大きくなった

日比谷潤子

リベラル・アーツ教育への新たな試み

田近裕子

医療系学部における教養教育の振り返り

岡田隆夫

すいそう

2人の生き方に学ぶ

上岡條二

特集 国による給付奨学金創設を機に奨学制度全
体を俯瞰する

奨学金制度の転換と大学の課題

小林雅之

私立大学と給付型奨学金

坂本雅士

日本学生支援機構の奨学金事業の現状について

日本学生支援機構

奨学事業戦略部

給付型奨学金事業40年の歩み——民間の奨学財団

として

亀岡エリ子

自立した学習者を育てる成長支援型奨学金

浅野昭人

大学の独自給付型奨学金について——神奈川大学

「米田吉盛教育奨学金」から

水上 晃

私立大学フォーラム2016——「学問するよろ

こび」総括(大阪会場)

鹿島久幸

私立大学フォーラム2016——「大学入試」私

立大学の改革——総括(福岡会場)

出口清孝

私の授業実践——教育現場の最前線から

英語による授業を成功させるために

杉本清香

明日への試み

関東学院大学人間共生学部

共生社会に貢献する人間共生学部の試み

新井信一

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

二つの歴史が切り結ぶ場所——本館落成100周

年に向けて——清泉女子大学

有光隆司

加盟校の幸福度ランキングアップ「プレゼン・コ

ンテスト編」

実地応用の素を養うビジコン・中央大学

清水大輔

大学の良さ・魅力とは？——恵泉女学園大学フオ

トコンテストを通して——恵泉女学園大学

篠田真理子

ロボットセミナーの全国展開と全国大会の実施・

芝浦工業大学

荻田忠伸

クロースアップ・インタビュー

作家 東山彰良さんに聞く (聞き手) 川島 葵

表紙・大学点描 愛知大学

だいがくのたから 阪南大学

座談会 「第二外国語教育について」

特集 「社会人の学び直し（女性のための支援プログラム）を考える」

小特集 「オープンキャンパスはいま」

表紙・大学点描 広島女学院大学 だいがくのたから 福岡女学院大学

クロースアップインタビュー：

「佐々木茂喜さん（オタフクホールディングス株式会社 代表取締役社長）」

編集後記

◆「隗より始めよ」という故事成句がある。物事は言い出した者から始めよという意味で用いられる。

内輪ごとで恐縮だが、本誌では企画案を出した者がそのまま編集担当となることが多い。昨年4月に委員を拝命して初めての提案企画だったが、何とか特集として送り出すことができた。関係各位に感謝申し上げたい。

今回は、さまざまな視点から奨学金を展望することによって、経済支援をはじめとする学生支援の実態を浮かび上がらせ、全体を俯瞰することを目指した。6本の記事はいずれも適確で読み応えがあり、特集の目的は達成できたのではないかと自負している。

「隗より始めよ」には、大事業を興すには、まず身近なことから始めよ、という意味もある。先日、国による給付型奨学金制度創設が決定した。2〜4万円という月額や1学年2万人の定員は少ないといった批判もあるが、まずは始めることが大事である。

財源や奨学生のモラル、公平性の担保などの課題はあるが、一つ一つ解決しながら、

よりよい制度に大きく育つことを願う。（広報・情報部門会議（大学時報）委員・早稲田大学広報室副室長 鈴木 勉）

◆リベラル・アーツ教育に關して、経済同友会の日比谷武氏（富士ゼロックス顧問）に企業の求める人材について、また他3大学からもご寄稿いただいた。

各記事では、リベラル・アーツ教育の共通点が挙げられていた。それは、「視野を広く、かつ専門は深く」であり、さらには「人間力を向上させるためのもの」ということもあった。

一方、日比谷武氏がご指摘になった「自ら考え行動する人」は、国際基督教大学・日比谷潤子氏の「悩んで大きくなった」や、津田塾大学・田近裕子氏の「課題解決力を養う」に通じるものがあるように思う。

「人間力の向上」と「自ら考え行動する人」をキーワードとして挙げたが、リベラル・アーツ教育の原点は、この二点に集約できるのではないか。その上で、各自が選択した分野の専門性が必要であり、人としてどうあるべきかを涵養し、かつ知識・情報の習得を目指すものであろう。リベラ

ル・アーツ教育の普遍性を改めて確信した。（広報・情報部門会議（大学時報）委員・神戸女学院大学図書館課長補佐 宇高 泰輔）

◆「無駄なことをすることに価値があり、無駄な部分がある人のことを一番説明している」。本号のインタビューで出た東山彰良氏の言葉は、とても印象的だった。所属している「組織」や社会的な「ステータス」ではなく、趣味や、特段将来役立つとはいえないことが、その人を一番説明しているというのだ。なるほど、自分を説明しているのはそういうところだったのかと、まさに目から鱗である。

インタビューでも、旅行やお酒などといった「無駄なこと」が話題となり、そうして「無駄なこと」が東山氏が小説を書くときの引き出しとなっており、それが作品に反映されているのかもしれない。（日本私立大学連盟事務局 阿部 淑恵）

私大連盟 公式Facebookページ

公式Facebookページ (http://www.facebook.com/shidai) を開設しています。次号の進捗報告などを発信していきます。

[illegible]

小林中依 倚赤宇 奥三兼 片山芹 平鈴 喬權 樞阿	林山藤 井木高 村浦高 岡田澤 盛藤藤 部	直 康 弘 幸 泰 幸 信 雄 英 俊 聖 達 聖 樹 和 勉 和 代	穀映正 幸南輔 幸雄俊 彦太剛 樹勉代 聖樹代	(法政大学社会学部教授) (上智大学総務局SGU事業推進室長) (関西大学 広報課長) (四学院大学大域接続センター入課長) (慶應義塾大学法学部教授) (神戸女学院大学図書館課長補佐) (武蔵大学社会学部教授) (南山大学理工学部教授) (日本大学芸術学部教授) (立命館大学総合企画部広報課長) (修修大学文化センター教授) (園田学園女子大学人間教育学部教授) (大正大学事務局長) (早稲田大学広報室副室長) (日本私立大学連盟事務局) (日本私立大学連盟事務局) (日本私立大学連盟事務局)
---	--------------------------------------	---	--	--

